

ショウジョウバエを用いた 筋オルガネラの解析

藤田 尚信 博士 Naonobu FUJITA, Ph.D.

東京工業大学 科学技術創成研究院
細胞制御工学研究センター 准教授

骨格筋（筋組織）は、私たちの体重のおよそ40%を占める最大の臓器であり、すべての“力”の発生源である。筋組織を構成する筋細胞は多核の巨大な細胞であり、筋原線維、T管、また筋小胞体などの高度に組織化されたユニークなオルガネラを持つ。遺伝性および障害性筋疾患の解析から、筋オルガネラの生理的な重要性は認識されているが、細胞分画法による単離が困難である上に培養系で再現できないことから、それらが形作られるメカニズムの解明は長らく阻まれてきた。これまでの研究は、遺伝性筋疾患の原因遺伝子の解析が主であり、いまだその一部しか明らかにされていないと考えられる。筋オルガネラの理解には、順遺伝学的手法である遺伝性筋疾患の原因遺伝子の同定と解析だけでなく、より包括的な新たなアプローチが求められている。このような背景から、私たちはショウジョウバエを利用した独自の解析系を用いて、筋オルガネラの解析を進めている。本セミナーでは、筋オルガネラに関する最新のデータを紹介するとともに、今後の研究の方針についても議論したい。

2023年11月16日（木） 15:00～16:00

場所：生体調節研究所 1階 会議室

（事前予約不要。直接会場にお越し下さい。）

連絡先：生体調節研究所 個体代謝生理学分野 西村隆史（8866）

Email: t-nishimura@gunma-u.ac.jp